

市民の声

～行方市によせる想い～



大川 得 朗
(行方市警員)

行方市は、霞ヶ浦、北浦に囲まれた豊かな大地、この大地を常に愛し、住みよいまちづくりを全員で願っていると思います。

過日、寺内議員さんより原稿依頼を受け、今後の市政の方策を探ってみました。結果は、多数の人



内 田 信 之
(行方市天掛)

9月2日に、麻生町、北浦町、玉造町が合併し、行方市になった。これからどう変わるのだろうか、楽しみだ。

最近、豊かな自然との共生という言葉を耳にするが、本当にその通りだと思ふ。子育て支援、環境



鈴 木 り み
(行方市沖洲)

私は、羽生小学校に通う5年生です。

9月2日から行方市になって、広くなった感じがしました。私がかすみか浦の見えるすぐそばに住んでいます。かもや白鳥や魚がい

が、一人一人の力より、多くの人の交流を図り、語り合い、笑いながら小さな輪をつくり、その輪を二重三重に広げながら実践していく事が、多くの道標の一本であると言つ意見をまとめました。

私も80歳の老人。最近特に健康面、生命の尊さを知るようになりました。生命の維持は、人との交流と語り合う機会が必要です。そのため、保健推進員(一年交代でもよい)を増員し、健康に必要な

問題、福祉の充実など言い出せば切りがない。私たちは、快適に暮らせる、住み良い行方市であつて欲しいと思ふ。

また、今、一番知りたい事は、平成17年度からの税率だ。市になって、税率は、変わるのだろうか。また、議員の人数は、市職員の数

は変わるのだろうか。ムダを無くした行政であつて欲しい。

天気の良い日の学校帰りに見る、キラキラしたかすみか浦が、私は大好きです。

将来、かすみか浦がもつともつときれいになって、魚たちが元気に泳ぎ、たくさんの人たちが、行方市のかすみか浦に遊びに来てほしいと思ひます。

治療法、運動等々の指導計画を立案し、「市を支える老人」の目標を設置し、それらがやがて、老人医療費の削減につながり、行方市民が、豊かで、住みよい社会が誕生する一つの輪と思ひました。

あなたの「声」をお寄せください。議会や市に対する要望、意見、あるいは「議会だより」を読んでの感想など、なんでもけっこうです。

住所・氏名・電話番号を明記のうえ、議会事務局まで。



編集後記

新生行方市が9月2日に誕生し、初議会が9月13日・14日の2日間開催されました。関係職員も新たな市政運営に力を注ぎ、順調にスタートをしました。また、10月2日には初代行方市長に坂本俊彦氏が当選され、5日に初登庁しました。今後の市政運営に期待するものであります。

新たにスタートした行方市としての課題は、行財政改革の推進と農産業の振興対策ではないでしょうか。また、百里基地の民間共用化や東関東の延伸等、新時代の要請が待ち受けております。議会としても、それらに出来るべく努力をしなければなりません。新しいまちづくりは、市民の皆様と執行部が丸となり議論を重ね、より良い方途を目指して精進することでありませぬ。

今般、行方市議会だより創刊号を発行する事が出来ました。市民の皆様を始め、関係各位に厚く感謝をする次第であります。

私たちも心を新たに市民の皆様

広報委員会

- 委員長 寺内泰俊
- 副委員長 松兼幸威
- 委員 平塚文雄
- 委員 根崎勇三
- 委員 吉藤恵一
- 委員 小林久

広報委員長 寺内泰俊

- 塚本泰雄
- 宮内正
- 庄司茂美